

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【原山小学校】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策	
重点的に育成する 資質・能力	(1)良好な人間関係を形成し、共同体感覚をもって学ぶことができる資質・能力 (2)自分の能力や力を発揮し、自らの学びを調整することができる資質・能力	
↓		
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)-1 学校課題研究を通じた、協働学習と個別最適な学習をバランスよく取り入れた授業改善【各単元】 (1)-2 つながりタイムにおけるコミュニケーションスキルの育成【月1回】 (2)課題解決の過程や単元の終末における、自他の学びの深まりや疑問など、学び方をふり返ることができる時間の設定。【各単元】	

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 結果提供(2月)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	・国語、算数ともに、正答率は全国平均を上回っているものの、国語の「文章の特徴を理解する」「目的に応じた情報を読み取る」こと、算数の「二次元表から条件に合う数値を読み取る」ことに課題が見られた。 ・質問項目「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができるか」の肯定的回答の割合が90%を超えており、全国平均と比較しても高い値となっている。	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	・文章、数値ともに、目的や条件に応じて読み取ることに課題がある。 ・多くの児童が、協働を通じた自分の考えの深まりを感じることができている。	

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	学力向上策(1)(2)ともに、学校課題研究を絡めながら着実に実施しており、児童の学習における考えの深まりに良い変化をもたらしている。つながりタイムでのコミュニケーションスキルを、協働学習等にも生かせるよう指導を積み重ね、学習過程で互いに良い影響を受けながら学習していけるようにしていきたい。
	B	
↓		
学力向上策の 見直し	(変更なし)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所